

令和5年(2023年)3月29日

彦根市長 和田 裕行 様

彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議
会長 塚口 博司



彦根城周辺パーク・アンド・バスライド本格実施に向けての提言

本協議会につきましては、平成29年7月24日付け彦都第10049号にて貴職からの依頼により彦根城周辺の慢性的な交通渋滞の対策としてパーク・アンド・バスライドの本格実施について合計7回の社会実験を経て検討して参りました。

彦根城周辺のパーク・アンド・バスライドは、「彦根市都市交通マスタープラン」の重点戦略のひとつとして位置づけられており、観光都市を支える交通環境の構築として、彦根城など市街地中心部へアクセスしやすい交通環境の実現を目指すものです。

貴市におかれましては、日頃から観光シーズンについて慢性的な交通渋滞の対策が課題となっており、さらには令和7年(2025年)には第79回国民スポーツ大会、第24回全国障害者スポーツ大会が予定されており、同時に彦根城の世界遺産登録を目指されている状況であり、さらに課題が拡大することが懸念されているところです。これらの課題については市街地への過度な自家用車の進入を抑制するパーク・アンド・バスライドの実施が交通渋滞の対策への対策としては有効な手段であると社会実験の結果から判断されます。

つきましては、本協議会の検討結果として、別添のとおり、取りまとめましたので市長に提言致します。

彦根城周辺パーク・アンド・バスライド本格実施に向けて

2023年3月 彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会

(提言の背景・目的)

彦根城周辺パーク・アンド・バスライド（以下「P&BR」という）は、観光都市を支える交通環境の構築として、彦根城など市街地中心部へアクセスしやすい交通環境の実現を目指しています。

私共、彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会は、この目標の検証のため、平成29年秋より令和4年秋までの計7回にわたる本社会実験の実施について協議を行ってきました。

また、本社会実験では、単なる実験に留まらず、常に本格実施を念頭においた持続可能なシステムの構築についても検証してきました。

以下、社会実験により得られた効果を示し、検証結果により、P&BRの本格実施に向けた貴市への提案事項を提言いたします。

本提言が、P&BRの本格実施につながり、また、第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会の開催、彦根城の世界遺産登録における新たな彦根市交通システムの構築に寄与することを祈念いたします。

1. 導入効果について

(1) 交通面

城内駐車場は常設の一般駐車場4箇所（京橋口含む）で乗用車295台が止められることに対し、パーク・アンド・バスライド駐車場（彦根IC前駐車場）はピーク時期で日当たり200台程度の乗用車を収容できます。また、貴市を自家用車で観光に来られる観光客にとって彦根ICの目の前であり、非常に利便性が良い位置にあることから、社会実験においても乗用車の市街地への流入抑制につながり、特に春秋・観光シーズンでの市街地交通・城内駐車場・生活道路の混雑を低減させる効果があります。

(2) 観光面

彦根城周辺の道路・駐車場が混雑する場合は、駐車場を探す時間などが発生することから、城内駐車場に停めて観光するよりも、パーク・アンド・バスライドを利用して彦根ICから彦根城にバスで移動する方が早く移動できる可能性が高まります。

また、パーク・アンド・バスライド利用者は、城内駐車場利用者より滞在時間が長く、立ち寄る場所が多く、その結果、消費額が増加する可能性が高まります。

これらは社会実験においても検証ができており、観光面においても効果があります。また、マーケットにおいてもP&BRの満足度が高いことから彦根観光の満足度につながっています。

(3) 環境面

P&BRのバス利用により走行する車両数が削減されることにより、CO2排出量の削減が可能となります。また、その環境への取組により彦根市としてのイメージアップにつながることが可能となります。

社会実験1回のCO2削減量は1300kg-CO2（最も利用者の多い平成31年春、8日間で輸送人数2,356人として概算算出）となります。これは杉の木の約90本が1年間にCO2を吸収する量に相当します。

このように彦根IC前の駐車場で駐車して頂き、バスに乗り換えて頂くことで、CO2削減につながります。

2. 最後に

P&BR 事業は、彦根市観光の交通手段を自動車から公共交通に転換を図り、中心市街地における観光シーズンの交通渋滞緩和等を実現できる公共性の高い事業です。

本事業は、民間企業の持つ多様な経験・ノウハウ・技術を活かし、業務効率化やサービス向上を図り、官民連携事業として実施することで観光客の満足度を向上させることが期待され、また、バス事業者と連携し、路線便を補強する形で実施することにより、既存のバス路線に好影響となることも期待されます。

P&BR は、市街地への過度な自家用車の進入を抑制する手段として有効であることはもちろん、単なる交通システムの構築のみならず、観光都市、文化都市、世界遺産都市としてのブランドの向上や新たな価値を生み出す手段としての役割も期待できる、まちづくりのための施策であります。

本協議会としては、これまでの社会実験を通して、上記の結論を得たことから、貴市のP&BRの本格的で継続的な実施を望み、都市ブランドの向上に大いに期待いたします。



彦根城周辺パーク・アンド・バスライド ～マイカーを「彦根インター前駐車場」に停めて専用バスで観光地へ～ 本格実施に向けた社会実験のとりまとめ

当パーク・アンド・バスライドについて

彦根城など市街地中心部へアクセスしやすい交通環境の整備を目指すため、彦根城周辺パーク・アンド・バスライド（以下「パーク&バスライド」という）の社会実験を2017年（平成29年）秋より2022年（令和4年）秋まで7回実施してきました。

彦根市は、「パーク&バスライド駐車場の新設及び彦根城周辺を結ぶシャトルバスの運行」を「彦根市都市交通マスタープラン」（平成29年3月）に位置づけており、観光都市を支える交通環境の構築としてパーク&バスライドの本格実施を具体的に進めていく必要があります。

これまでパーク&バスライドの社会実験を、春と秋の観光シーズンにおいて6日間から9日間程度の日数で実施し、多い時には社会実験1回あたりで2,000人前後の方にご利用いただきました。

彦根市では、彦根城の世界遺産登録を目指すとともに、国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会（2025年予定）の開催が予定されており、これらに寄与する交通システムの改善が必要です。

これまでの社会実験より抽出された効果及び課題を踏まえ、今後はパーク&バスライドの本格実施を予定しています。

以下、社会実験の効果と課題を整理し、今後の予定についてお知らせします。



社会実験の実施内容（2017年～2022年）

これまで行った7回の社会実験では、実施時期・料金（無料・有料）・城内駐車場の料金改定、観光施設利用の割引チケット配布など、様々なパーク&バスライドの利用促進及び観光の活性化につながる施策を実施しました。

施策等	2017 (H29) 秋	2018 (H30) 秋	2019 (H31) 春	2019 (R1) 秋	2021 (R3) 春	2021 (R3) 秋	2022 (R4) 秋
新型コロナウイルス感染予防対策の実施	—	—	—	—	●	●	●
目的	プレ実験による需要を確認	本格実験による秋シーズン需要・効果を確認	桜のシーズン需要・効果を確認	日数を拡大し、周遊性を高め、秋シーズンの需要・効果を確認	引き続き無料で、コロナ禍の需要を確認	有料（駐車場代）コロナ禍での利用確認	有料（運賃）路線バスによるコロナ禍での利用確認
実施時期	イベント開催含めた秋の観光シーズン	→	桜開花時期	イベント開催含めた秋の観光シーズン	桜開花時期	イベント中止・紅葉時期に実施	イベント開催含めた秋の観光シーズン
料金	無料					有料 500円/台	有料 大人400円/人
バス運行	シャトル型 周回型	シャトル型 周回型	シャトル型 周回型	シャトル型 周回型	シャトル型 周回型	シャトル型 周回型	路線バス活用と増便
城内駐車場の料金改定	—	—	—	1回400円から1,000円に改訂	→	→	→
城内駐車場の台数削減※1	—	●	— (駐車需要が多く削減しなかった)	●	●	●	●
観光施設の割引チケット	●	●	●	●	—	—	—
協賛店舗特典等※2	—	●	●	●	●	●	●

本格実施の検討

2020年春・秋、2022年春は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

※1 文化財保存用地での臨時駐車場をイベントのない日は閉鎖。※2 協賛店舗特典のほか、2021年以降は同店舗でのスタンプラリー、抽選券による粗品進呈を実施。

社会実験シャトルバス運行イメージ





彦根城周辺パーク・アンド・バスライド ～マイカーを「彦根インター前駐車場」に停めて専用バスで観光地へ～ 本格実施に向けた社会実験のとりまとめ

社会実験の結果【利用状況】

■利用者数・駐車台数

7回社会実験の延べ50日間にわたり約9,400人の方が彦根IC前駐車場でバスに乗換え、彦根城周辺で観光いただいたこととなります。桜開花時や秋イベント開催の日は、同駐車場がコロナ禍前は満車になるなど多くの方にご利用いただくことができました。

また、コロナ禍以降では日当たり利用者がコロナ禍前と比べ3割減（2019年秋と2022年秋の比較）に留まっており、今後も実施の場合は、ご利用いただく可能性を把握することができました。

	2017 (秋)	2018 (秋)	2019 (春)	2019 (秋)	2021 (春)	2021 (秋)	2022 (秋)
実施日数	7日間	8日間	8日間	9日間	6日間	6日間	6日間
インター前駐車場 乗車人数	1,275人	1,422人	2,356人	1,961人	995人	416人	942人
最大日利用者数	525人	621人	702人	683人	650人	107人	131人
インター前駐車場 延べ駐車台数	412台※	570台	876台	777台	417台	165台	379台

※2017年秋～2021年春の5回は、無料で実施
2021年秋、2022年秋の2回は、有料で実施

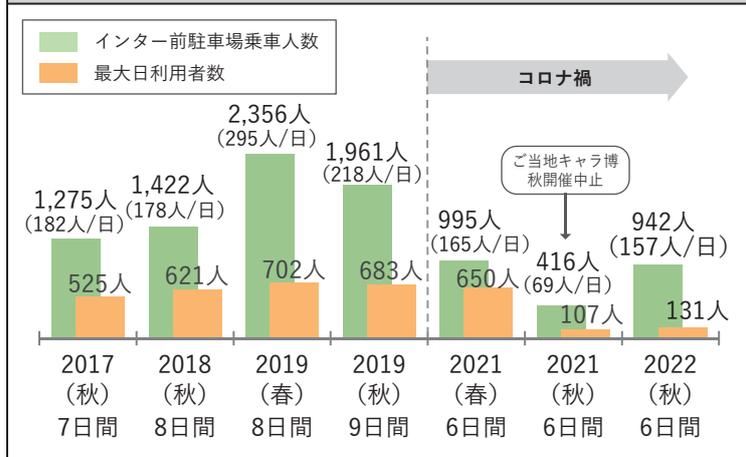
※2020年の春・秋は新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止

※2017年は9日間のうち2日間は悪天候のため中止

※2017年は延べ駐車台数を計測していないため、1日当りの最大駐車台数の合計値を記載

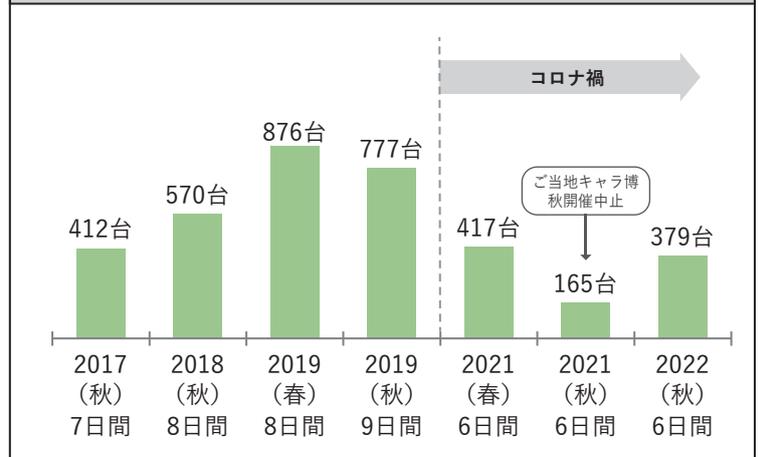
利用者数の推移

【2017年～2022年】



駐車台数の推移

【2017年～2022年】



期間中の利用者数・駐車台数

【2022年秋】



バス運行状況
(インター前駐車場)



乗換え駐車状況
(インター前駐車場・バス停)



彦根城周辺パーク・アンド・バスライド ～マイカーを「彦根インター前駐車場」に停めて専用バスで観光地へ～ 本格実施に向けた社会実験のとりまとめ

社会実験の結果【利用状況】

■パーク・アンド・バスライド利用者アンケート

社会実験ごとのアンケート結果の傾向は大きく変わらず、満足度が高く安定して利用いただけたことがわかります。以下、アンケート結果は直近の2022年秋の結果を示します。

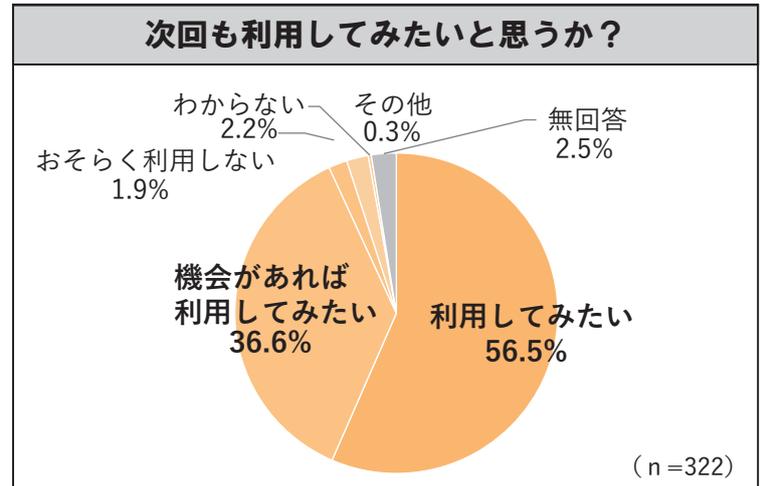
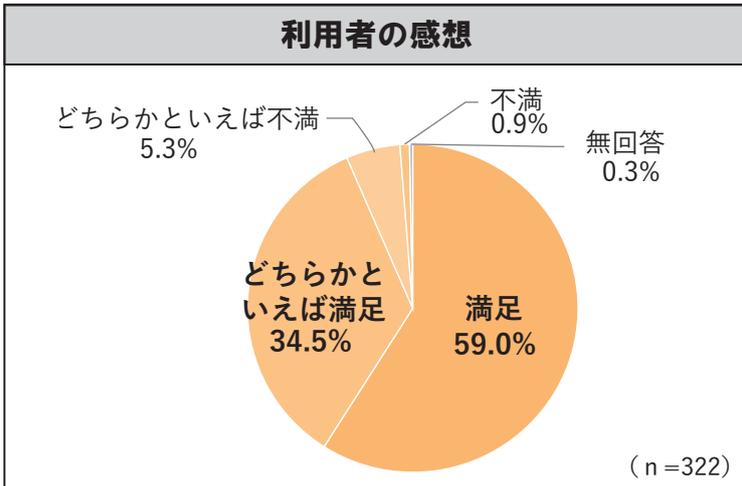
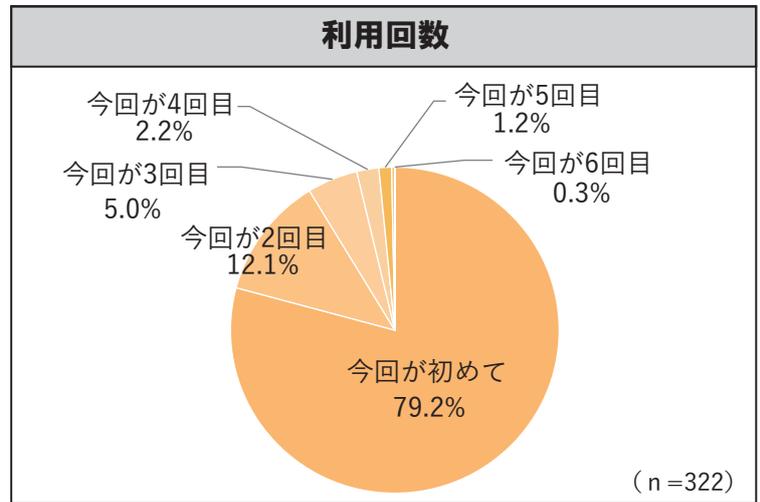
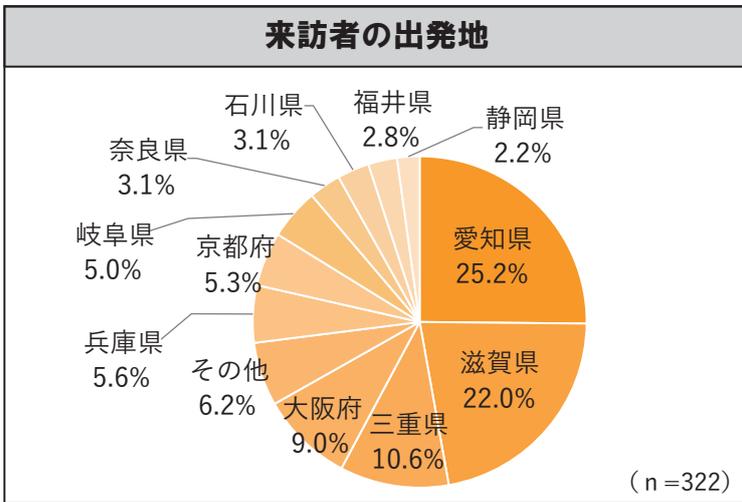
「来訪者の出発地」は、愛知県と滋賀県で約半数の割合を占めています。また東海三県エリア（愛知・三重・岐阜）からの来訪が約41%と多くなっています。「利用回数」は、今回が初めてが約79%、複数回（リピート）利用が約21%となっています。

「利用者の感想」「次回も利用してみたいと思う」については、どちらもほとんどの利用者が「満足」、「利用してみたい」との回答をいただきました。

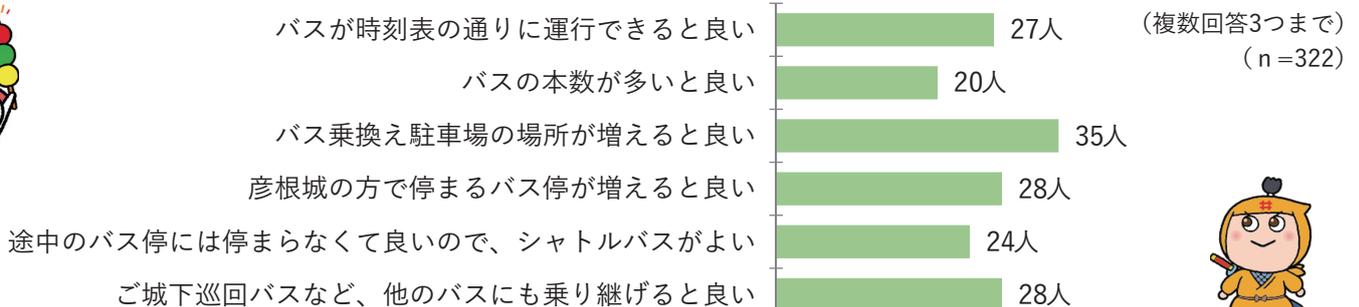
いずれも、これまでとほぼ同様の傾向となっています。

また、「改善」については、バスの運行について多くのご意見をいただきました。

【全て2022年秋】



改善できると良いと思うものは？



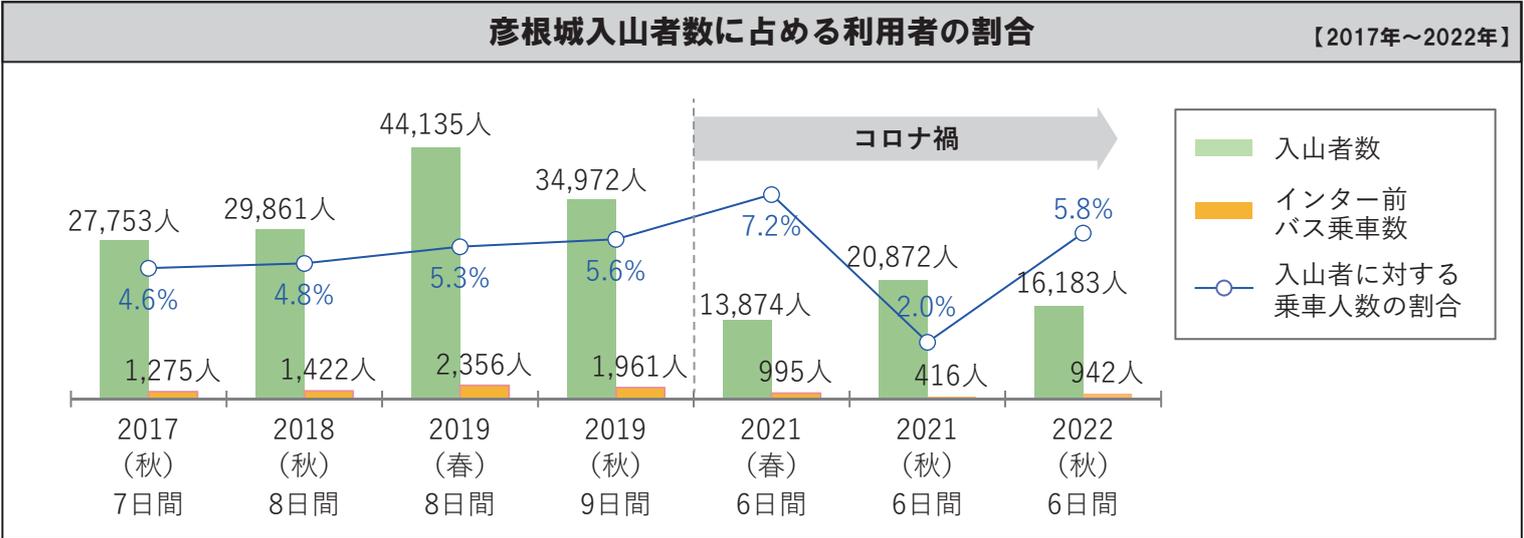


彦根城周辺パーク・アンド・バスライド ～マイカーを「彦根インター前駐車場」に停めて専用バスで観光地へ～ 本格実施に向けた社会実験のとりまとめ

社会実験の結果【観光面】

■利用者数（パーク・アンド・バスライド利用者の彦根城入山者数に占める割合）

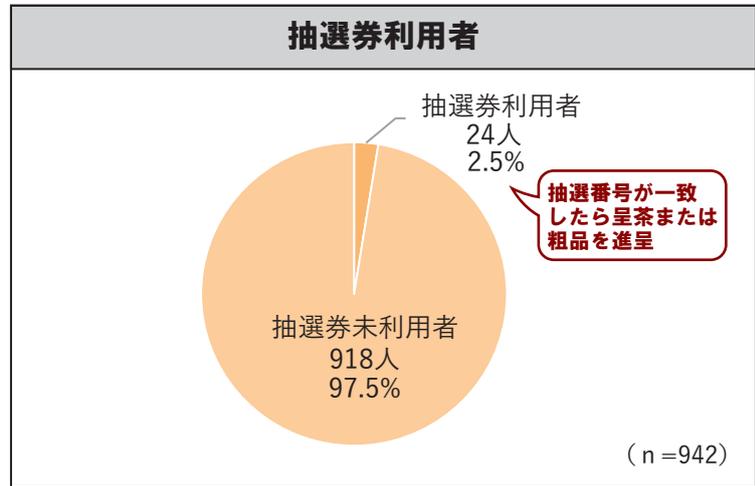
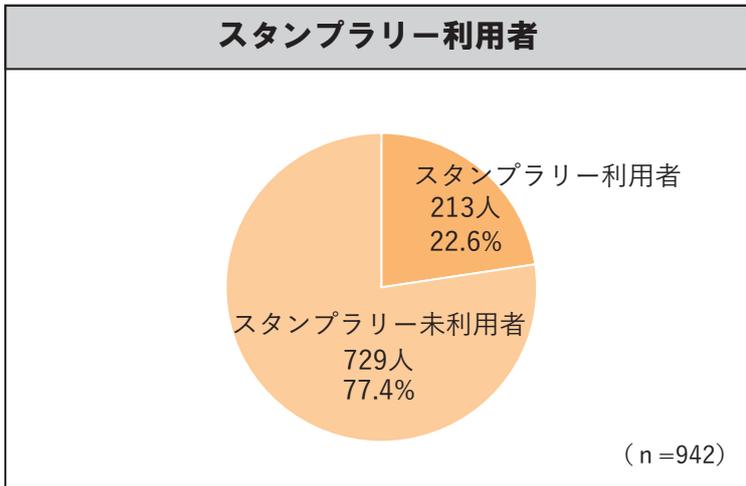
彦根城入山者数に占める割合は、ご当地キャラ博の秋開催がなかった2021年秋は2.0%と落ち込んでいましたが、今回はコロナ禍前の5%前後まで戻りました。イベント開催がパーク・アンド・バスライド利用のきっかけのひとつであることがわかります。



■利用促進策

前回に引き続き、利用促進と商店街をまわっていただくよう、スタンプラリーと抽選券を実施しました。社会実験利用者のうち、スタンプラリーは22.6%、抽選券は2.5%の利用をいただきました。

【全て2022年秋】



当選番号掲示の様子 (聴鐘庵)



粗品の絵葉書 (博物館お茶席)



彦根城周辺パーク・アンド・バスライド ～マイカーを「彦根インター前駐車場」に停めて専用バスで観光地へ～ 本格実施に向けた社会実験のとりまとめ

社会実験の結果【観光面】

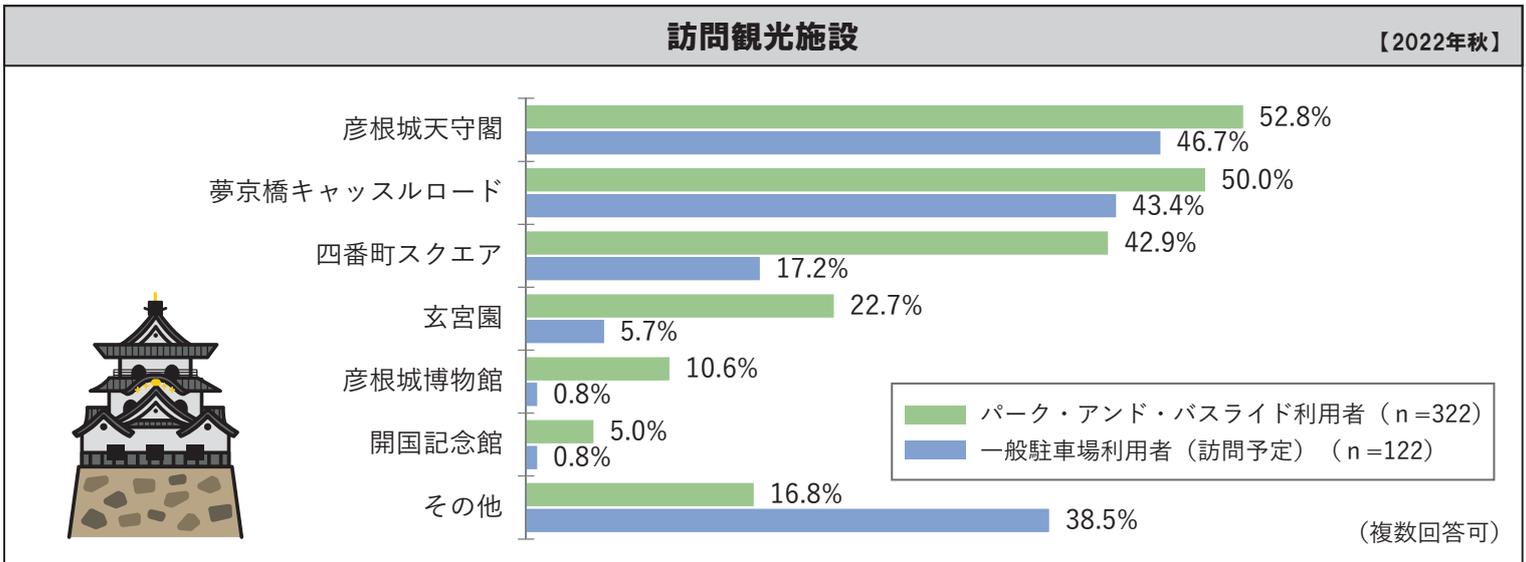
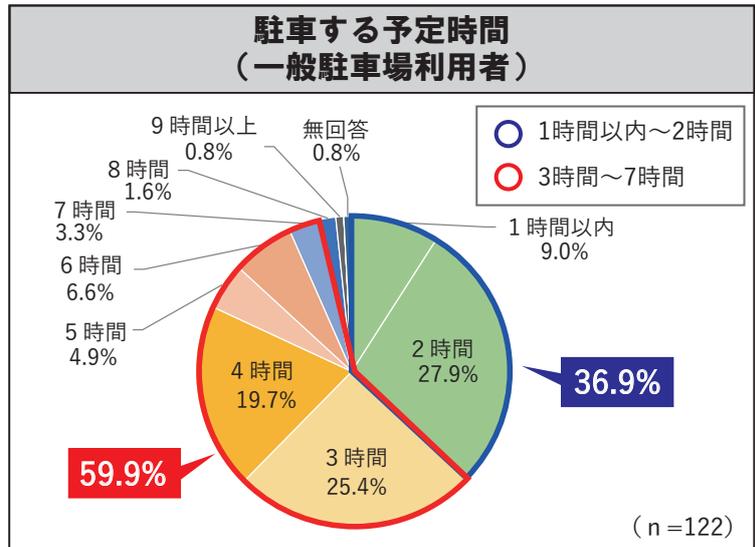
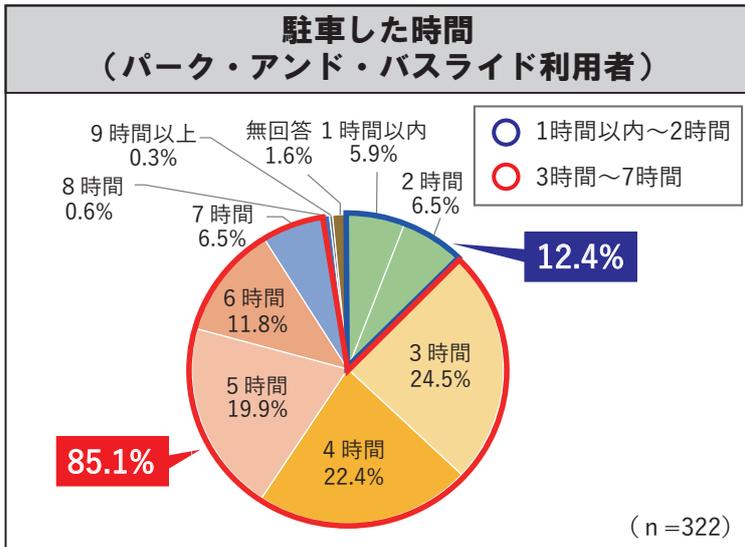
■パーク・アンド・バスライド利用者、一般駐車場利用者アンケート

これまでの社会実験を通じて、パーク・アンド・バスライドを利用した方は、城内の一般駐車場に停めた方より、滞在時間が長くなり、訪問する施設が多くなる可能性が高く周遊性が高まることがわかりました。以下、直近の2022年秋の結果を示します。

円グラフで、長い時間（3時間～7時間）駐車した利用者の割合を比較すると、パーク・アンド・バスライド利用者が約85%、一般車駐車場が約60%となっています。

横棒グラフで、パーク・アンド・バスライド利用者と一般車駐車場利用者のどちらでも、約40%以上の方が彦根城天守閣と夢京橋キャスルロードを訪問していることが分かります。パーク・アンド・バスライド利用者は、さらに四番町スクエア、玄宮園、彦根城博物館を訪問する割合が高くなっています。

【全て2022年秋】





彦根城周辺パーク・アンド・バスライド ～マイカーを「彦根インター前駐車場」に停めて専用バスで観光地へ～ 本格実施に向けた社会実験のとりまとめ

社会実験の結果【利用料金について】

■パーク・アンド・バスライド利用者、一般駐車場利用者アンケート

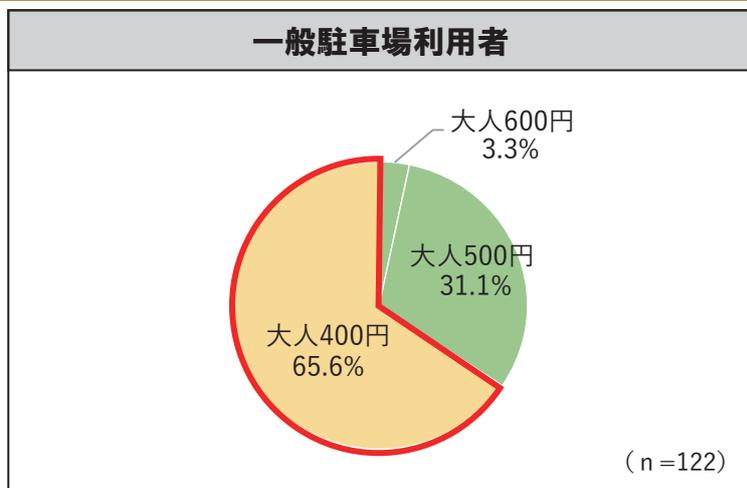
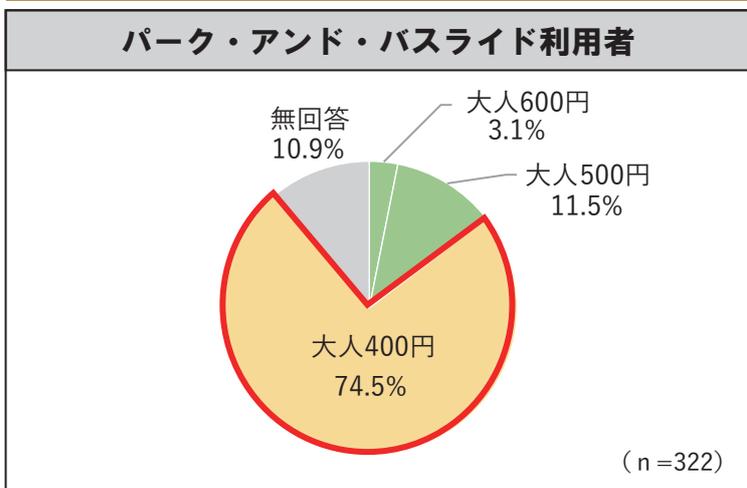
初めて有料で行った2021年秋は、乗換え駐車場の協力金（駐車料金相当）として1台500円を徴収しました。今回2022年秋は、この駐車料金は無料、路線バスを一部、活用しながらバス運賃を徴収しました（大人400円/人（小児1人無料、2人以降200円/人））。この運賃について、いくらであれば妥当と思われるかアンケートを行いました。

その結果、どちらの利用者も400円が大半を占め、なかでも実際に料金を支払いパーク・アンド・バスライドを利用した方の約75%が400円と回答しました。

また、500円、600円という回答もあり、路線バスの往復運賃より高くてもよいという考えの方が利用者でも10%以上いることがわかります。

今回のバス運賃は、いくらであれば妥当と思われますか？

【2022年秋】



社会実験の結果【近隣商店街・協賛店舗】

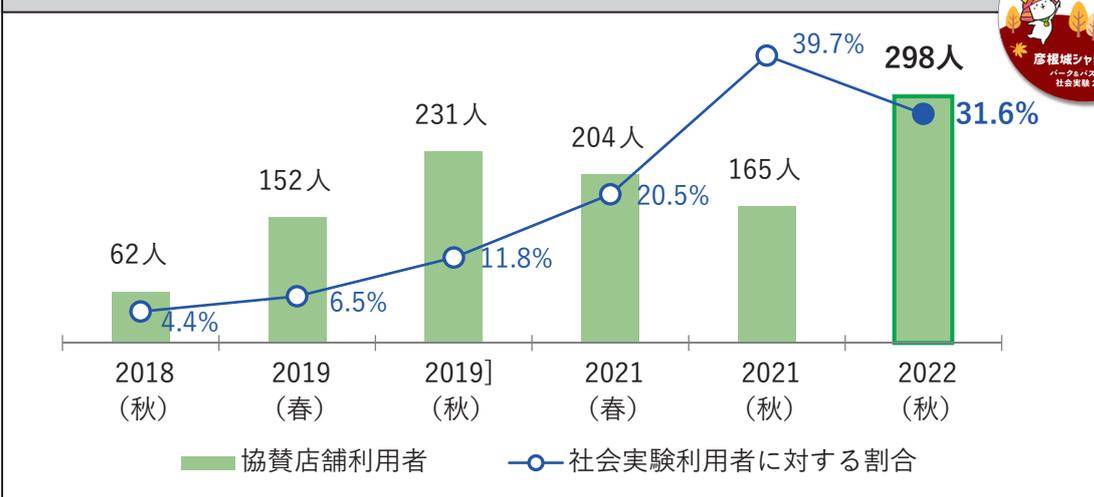
【2018年～2022年】

■協賛店舗の利用状況

2018年秋の社会実験より始めた協賛店舗の実施は、社会実験の利用者がインター前駐車場で配布される缶バッジを提示することにより、特典を受けられるというものです。

協賛店舗を始めて6回目の今回は23店舗で実施され、協賛店舗利用者数の社会実験利用者数に占める割合は約32%でした。協賛店舗の浸透が徐々に進んでおり、観光活性化につながっていくことが考えられます。

協賛店舗の利用状況



オリジナル缶バッジの提示で協賛店舗の特典が受けられます！



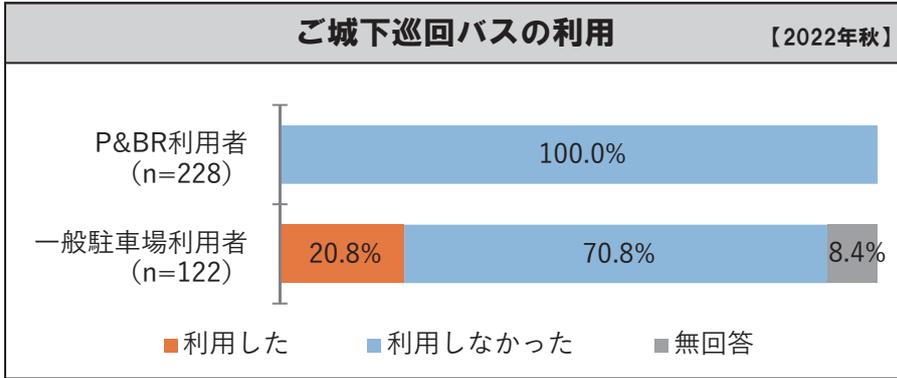


彦根城周辺パーク・アンド・バスライド ～マイカーを「彦根インター前駐車場」に停めて専用バスで観光地へ～ 本格実施に向けた社会実験のとりまとめ

社会実験の結果【ご城下巡回バス・グリーンスローモビリティ】

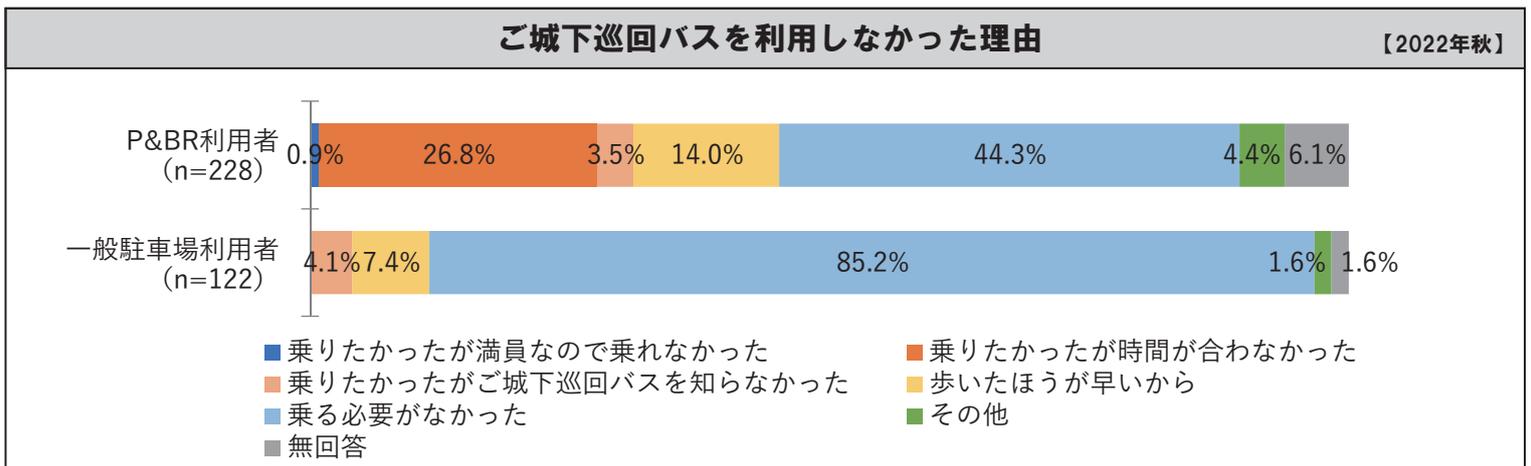
■ご城下巡回バス

今回の社会実験期間中（6日間）は、パーク・アンド・バスライドのシャトルバスの彦根駅等での乗換えにより周遊性を高めるため、ご城下巡回バスを15便増便し概ね30分に1本を、15分に1本と利便性を上げました。また、パーク・アンド・バスライドの一日乗車券でご城下巡回バスも利用可能としました。



パーク・アンド・バスライド利用者で、ご城下巡回バスをあわせて利用した人は約21%であり、彦根城周辺の観光周遊に貢献しました。なお、城内の一般駐車場利用者は、ご城下巡回バスを利用していない結果となりました（アンケート回答者）。

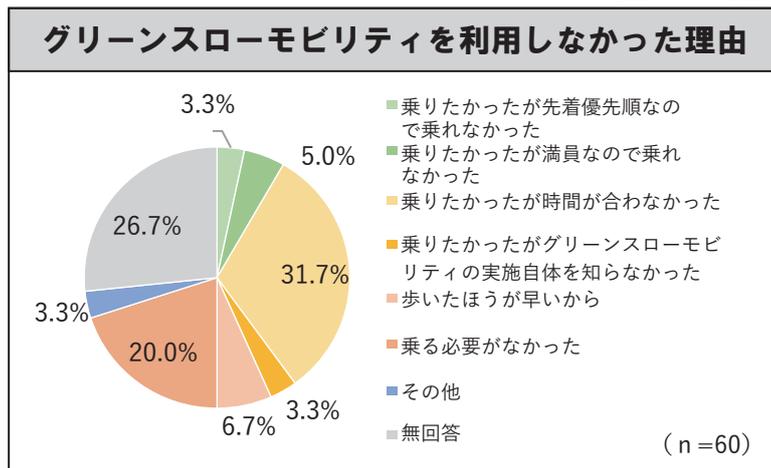
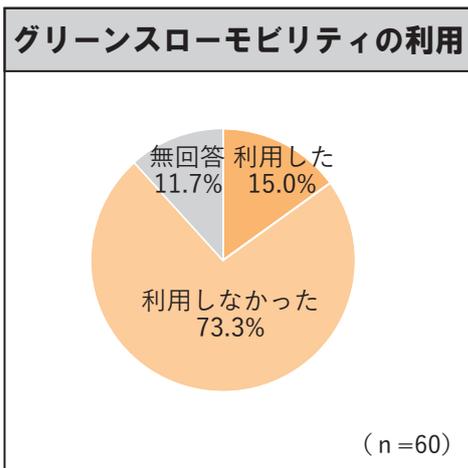
ご城下巡回バスを利用しなかった人の理由は、パーク・アンド・バスライド利用者で「時間が合わなかった」「乗る必要がなかった」が多く、一般駐車場利用者で「乗る必要がなかった」が多い結果となりました。



■グリーンスローモビリティ社会実験（2022年10/28(土)～11/12(土)（11/3(木祝)を除く15日間））

2022年秋はパーク・アンド・バスライド社会実験期間と同時に、10/29(土)、10/30(日)、11/5(土)の3日間、グリーンスローモビリティ社会実験を実施しました。パーク・アンド・バスライド利用者で、グリーンスローモビリティをあわせて利用した人は約15%であり、彦根城付近へのアクセス性向上に貢献しました。

また、グリーンスローモビリティを利用しなかった人の理由は、「時間が合わなかった」「乗る必要がなかった」が多い結果となりました。



グリーンスローモビリティは、時速20km未満で公道を走る電動車で、彦根駅と彦根城間を無料で走行しました。



彦根城周辺パーク・アンド・バスライド ～マイカーを「彦根インター前駐車場」に停めて専用バスで観光地へ～ 本格実施に向けた社会実験のとりまとめ

新型コロナウイルス感染症対策

2021年春以降、3回の社会実験は、安全・安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底して実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策

【写真：2022年秋】



- ・受付時の検温、手指消毒
- ・スタッフの健康管理



- ・お子様へオリジナルマスクの配布
(限定数)

社会実験の効果と課題、今後の予定

皆さまのご理解、ご協力のもと、本社会実験を2017年より2022年（春・秋）の7回にわたり実施してきました。彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会では、交通面・観光面の効果検証とともに、課題を抽出し、本格実施の検討を進める予定です。



■検証された効果

- ①観光シーズンの城内駐車場・市街地交通・生活道路の混雑を低減させる効果がある。
- ②公共交通利用としてバスに乗換えることから、CO₂排出量が削減される環境面の効果がある。
- ③交通混雑時の彦根ICから彦根城までのアクセス時間は、城内駐車場利用よりもパーク・アンド・バスライド利用の方が短縮できる効果がある。
- ④城内駐車場利用よりもパーク・アンド・バスライド利用の方が、滞在時間が長く、立寄る場所が多く、その結果、消費額増加につながる可能性が高くなる効果がある。
- ⑤利用者、近隣商店街の事業者は、当パーク・アンド・バスライドについて、定着することや市のイメージアップにつながることにについて、好意的であることがアンケート調査により把握できた。

■抽出された課題

- ①イベントのない日のパーク・アンド・バスライド利用者が少なく、彦根城入山者に占める割合や、需要そのものを高める必要がある。
- ②パーク・アンド・バスライド利用者の協賛店舗特典など、パーク・アンド・バスライドと合わせた観光促進策について、その実施主体や実施方法を本格実施に向けて検討する必要がある。

■今後の予定（状況により変更することがあります、あらかじめご了承ください）

国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会の開催、彦根城の世界遺産登録に向けた本市にふさわしい交通システムとして、今後、本格実施について検討予定です。

今後も皆さまのご協力をお願いいたします。

【実施機関】彦根市

- 【協議機関】 彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会
- 【協議会構成】 学識（立命館大学・滋賀県立大学）／国土交通省（滋賀国道事務所・滋賀運輸支局）／滋賀県（湖東土木事務所）／彦根警察署／彦根商工会議所／彦根観光協会／NEXCO中日本／湖国バス(株)／彦根市
- 【事務局】 彦根市役所 歴史まちづくり部都市計画課
- 【事務局支援】 日本工営都市空間株式会社
- 【協力】 彦根ボランティアガイド協会

<2023年（令和5年）作成>